

AIフルーエンシー・フレームワーク

AIとのやり取りを、効果的・効率的・倫理的・安全なものにするために欠かせない、4つの結びついた力。（The AI Fluency Framework）

4Dフレームワーク The 4D Framework

委任 Delegation 目的を定め、AIと関わるかどうか・いつ・どのように関わるかを決める。	描写 Description 役立つAIのふるまいや出力を引き出せるよう、目的を効果的に描写する。
見極め Discernment AIの出力やふるまいの有用性を、的確に評価する。	確認責任 Diligence AIで何をするか、どうするかについて、責任を引き受ける。

主要概念 Key Concepts

人とAIの関わり方（3つのモード）：

- ・ **自動化** Automation：AIが、人の指示にもとづいて特定のタスクを実行する。
- ・ **拡張** Augmentation：人とAIが、考えるパートナーとして協働する。
- ・ **エージェンシー** Agency：人がAIを設定し、自分に代わって今後のタスクを自律的に行わせる。
- ・ AIフルーエンシーとは、効果的・効率的・倫理的・安全なやり方でAIシステムと関わることです。
- ・ 委任・描写・見極め・確認責任という力は、スキル・知識・洞察・価値観が結びついた集まりです。

出典・ライセンス：Copyright 2025 Rick Dakan, Joseph Feller, and Anthropic. CC BY-NC-SA 4.0 ライセンスのもとで公開。本資料は他家「The AI Fluency Framework」サマリーの非公式・日本語意訳版（KAKEHASHI）です。